



体に良いものを作り 皆さんに安心して 食べてもらいたい。

いるというところにこだわりを持っていきます。体に良いものを作り、皆さんに安心して食べてもらいたいという思いで、この栽培方法にしました。

慣行栽培には効率的に大量生産が可能という利点がありますが、慣行栽培をしたとしても、この4町歩という農地面積の規模では生活していけるだけの収入にはなりません。ですから、無農薬栽培ということで付加価値を付けて、単価を高くして売ることができれば、この規模でもやっていけると考えています。

——初年度の栽培状況はどうでしたか。

正直に話すと良くなかったです。計画していた量の半分も栽培できませんでした。やはり実際にやってみなければ分からないことが多かったのです。

ここは元々が牧草地で、普通そういう場所を農地にする場合は、一度農薬で牧草を枯らしてしまします。ですが、私は無農薬にこだわっていますので『草玉』が残った状態で播種（種ま

き）しました。近所の方はその『草玉』のことを『どんころ』と呼んでいましたが、その『どんころ』がたくさんあるため、それに阻害されて発芽が悪かったのだろうと言っていました。欠株がたくさんあり発芽の段階で失敗してしまったので、その後はどうにもできませんでした。もう一つ、ここでやるまで分からなかったのは鳥害です。発芽した豆の多くをハトに食べられてしましました。多少は食べられるだろうと思っはいたものの、予想以上の被害でした。これには本当に困ってしまい、いろいろな方に相談しました。同じく町内で大豆を栽培している「もりもりふあーむ」の成澤寛和さんにも相談し、アドバイスをいただいたので、来季はそれを試してみようと思います。こういったことを相談できる農家の方々がいらっしやるというのも白糠町で就農する際の良いところの一つかもしれませんね。

——ここで栽培された大豆はどちらに出荷されるのでしょうか。

関西の卸業者に出荷しています。私が栽培している大豆は、『トヨムスメ』という品種で豆腐に加工されています。

1年目はトヨムスメのみを栽培しましたが、2年目は3種類くらい大豆を栽培したいと考えています。ほかには、イモなども栽培してみたいと思っています。この大豆が豆腐以外のものにも加工できたらおもしろいなと思っています。

ここで育てた野菜を、ゆくゆくは白糠町内で販売し、町民の皆さんにも食べてもらえたらうれしいです。自分の作ったものを皆さんに「おいしい」と言ってもらえるように頑張ります。



「仁王積み」と呼ばれる乾燥方法。乾燥させている間に、茎やさやのミネラル成分が豆に移行し、よりおいしくなるのだそうです。

——白糠町のことは以前から知っていましたか。

旅行で釧路に来たことはありますが、白糠町のことは知らず、農業フェアで初めて知りました。実際に住んでみると、景色もいいし、雪も少ないので、とても過ごしやすい町だと思いました。

——田中さんの農地はどれくらいの広さですか。



上庶路に農地を4町歩（約4ヘクタール）借りています。そのうち、石が多かったり、笹の根が強かったりして、土を起こせないところもありましたので、実際に工作できたのが約3町半です。農地は、役場の担当者からのあつ旋があつたので、地権者との話し合いもスムーズに進みました。

——田中さんは大豆を栽培していますが、大豆を選んだ理由を教えてください。

南幌町の研修先で大豆を作っていたからです。米はどうしても場所を選びますので、道東での栽培はまず不可能です。一方で大豆は比較的育てやすい作物です。

物ですし、初期経費もトラクターなどの必要な機械をそろえるだけで、多額な経費をかけるなくても栽培できます。一般的にはコンバインという刈り取り脱穀機を使うのですが、それが無くてもできますし、『仁王積み』と呼ばれる積み方をすれば、3〜4週間で自然乾燥ができるので、乾燥機が無くても栽培が可能です。

——購入した農業用機械を教えてください。

トラクターとプランター、それとカルチベータという除草する機械です。

ここでは有機栽培をしていますので、すぐ草が生えます。それを毎週のようにカルチベータを使って除草しています。あとはディスクハローという機械を買いました。ディスクハローとは、円盤が回転することによって作物残渣を切る、簡単にいうとガタガタになった土をなら

すので、すぐ草が生えます。それを毎週のようにカルチベータを使って除草しています。あとはディスクハローという機械を買いました。ディスクハローとは、円盤が回転することによって作物残渣を切る、簡単にいうとガタガタになった土をなら

す機械です。ほかにはマニラスプレッターという堆肥散布機とビーンスレッシャーという脱穀機を買いました。これらの購入には、白糠町の農業支援制度を活用させていただきました。

——大豆栽培へのこだわりはありますか。

一般的に行われている農薬や化学肥料を使った慣行栽培とは違い、完全に無農薬で栽培して

